

～3年の修業の後、国家試験合格。

いよいよ夢の実現、そして社会貢献へ～

## 理療の分野で活躍する卒業生たち その1



W. T. さん  
(2017年度 専攻科理療科卒業)

私は小中学校教諭として23年間教壇に立ってきましたが、障がい  
が進行したため退職、46歳で視覚支援学校に入学しました。

3療資格取得後はより専門性の高い知識と技能を学ぶべく単身つ  
くばへ。筑波技術大学大学院での研究、附属医療センターでの臨床に  
3年間邁進。2021年春、帰郷し「銀の森治療院」を開院。

現在、臨床とともに、医学論文や教育論説の執筆、学校を中心とし  
た講演活動の日々を送っています。

新しい未来を創造する「種」は私たち自身の中にあります。そして  
それを芽吹かせる豊かな土壌と水、光たる環境が視覚支援学校にはあ  
ります。その「種」を私たち自身が発見し、この手で蒔く。勇気ある  
第一歩を踏み出し、まだ見ぬ未来へ！

(銀の森治療院院長・筑波技術大学客員研究員)

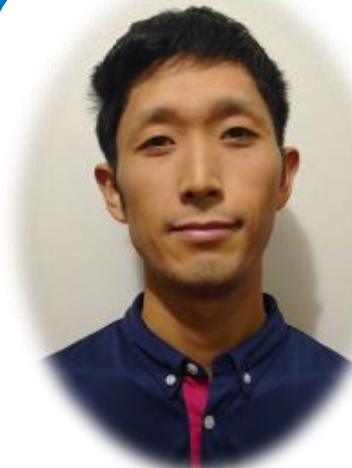


H. R. さん  
(2013年度 専攻科理療科卒業)

理療科卒業後は資格を活かして機能訓練指導員として高齢者施設に  
勤めていましたが、現在は鍼灸マッサージ治療院を開業し、日々患者  
さんの治療に努めています。

視覚支援学校理療科は、国家資格を取得するために学ぶ場であると  
同時に、「見えない世界」をうまく生きていく術を学ぶ場です。同じ「視  
覚障がい」を持つ仲間が集まる貴重な場所であり、孤独や悩みを分か  
ち合いながら自分が成長できる素晴らしい環境でもあります。あなた  
の未来は明るい選択肢に溢れています。そして、必ずあなたは誰かの  
助けになることができます。

(あさひ治療院院長)



H. T. さん  
(2018年度 専攻科理療科卒業)

理療科入学前、私は介護士として働いていました。徐々に視力低下  
がみられ、介護の仕事が続けられるか不安だった時に、偶然テレビで  
見た盲学校弁論大会で優勝した理療科生の挑戦し続ける姿に感銘を  
受け、専攻科に入学しました。

在学中は部活や生徒会など、社会人として働いている時には味わえ  
ないことを多々経験したこともいい思い出です。

現在は機能訓練指導員として働いており、やりがいと充実感を感じ  
ています。この仕事は筋力や体力が低下した高齢者への運動療法で、  
身体機能の維持・向上を図りますが、前職の介護職の経験が生かされ、  
また学校で学んだ解剖学や生理学、リハビリテーション医学などの知  
識が今の仕事にも役立っています。

(特別養護老人ホーム 玉川ホーム 機能訓練指導員)



**O. E. さん**  
(2019年度 専攻科理療科卒業)

網膜色素変性症により徐々に30代で視力低下し、正確さが求められる設計の仕事ができなくなりました。仕事も目標も夢も失い、荒んだ生活をしていた時期もありました。しかし、必ずもう一度自分の力で社会に戻り、仕事をすると心に誓いました。

そんな時にハローワークから視覚支援学校を紹介され、視覚障がいがあっても国家資格を取得して、新たな人生のチャンスがあるのだと知り、理療科に入学しました。20数年ぶりの勉強も心に決めたこと。周囲に支えられながら、自分のペースで勉強ができ、3つの国家資格を得て、現在、理療師として充実した仕事をしています。

人生一度きりです。覚悟を持ってこれからの生き方を見つけてほしいと思います。必ず道は拓かれます。

(日本テキサスインスツルメンツ合同会社社会津工場  
マッサージルーム (ヘルスキーパー))



**W. M. さん**  
(2013年度 専攻科理療科卒業)

自分の視覚障がいにも悩み、生き方を模索していた時期に視覚支援学校の教育相談を受けたことがきっかけで理療科に入学しました。理療科の3年間はとても充実していました。先生方からは理療の面白さを、同級生や先輩からは、実技練習や学校行事等を通じて、共に学ぶ楽しさと視覚障がいがあっても前を向いて努力する勇気を学びました。

卒業後は筑波大学理療科教員養成施設に進学し、教員免許を取得しました。今は、学生時代に教わった理療の面白さ・視覚に障がいがあっても学ぶことができることへの感謝の気持ちを少しでも生徒に還元できるように教壇に立っています。一人でも多くの方に、理療科で生きがいを見つけてほしいと思っています。

(宮城県立視覚支援学校理療科 教諭)

### こんなことで困っていませんか？

- ・子供のころから暗い場所が苦手。
- ・教科書の文字が見えない、見えにくい。
- ・視力が弱くて自動車免許が取得できない。

### 教育相談・入学に関する問い合わせ先



〒960-8002 福島県福島市森合町6-34

**福島県立視覚支援学校**

(理療科または地域支援センター)

電話：024-534-2574

FAX：024-533-2470

ホームページアドレス <http://fukushima-sb.fcs.ed.jp>

相談専用アドレス [sien-gr@fcs.ed.jp](mailto:sien-gr@fcs.ed.jp)

教育相談担当直通電話：080-7347-3908